

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局(43) 国際公開日
2002 年 9 月 19 日 (19.09.2002)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 02/072661 A1

- (51) 国際特許分類⁷: C08G 61/12, 業技術総合研究所 (NATIONAL INSTITUTE OF ADVANCED INDUSTRIAL SCIENCE AND TECHNOLOGY) [JP/JP]; 〒100-8921 東京都千代田区霞が関一丁目 3 番 1 号 Tokyo (JP).
C07F 9/6568, C09K 11/06
- (21) 国際出願番号: PCT/JP02/01774
- (22) 国際出願日: 2002 年 2 月 27 日 (27.02.2002)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2001-064202 2001 年 3 月 8 日 (08.03.2001) JP
特願2001-310029 2001 年 10 月 5 日 (05.10.2001) JP
特願2001-310030 2001 年 10 月 5 日 (05.10.2001) JP
特願2001-310031 2001 年 10 月 5 日 (05.10.2001) JP
- (72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 牧岡 良和 (MAKIOKA, Yoshikazu) [JP/JP]; 〒305-0045 茨城県つくば市梅園 2 丁目 2 7-4-1 0 2 Ibaraki (JP). 田中正人 (TANAKA, Masato) [JP/JP]; 〒305-0074 茨城県つくば市高野台 3-1 0-5 Ibaraki (JP). 林輝幸 (HAYASHI, Teruyuki) [JP/JP]; 〒271-0092 千葉県松戸市松戸 1 5 9-1-2-5 0 2 Chiba (JP).
- (74) 代理人: 佐伯 憲生 (SAEKI, Norio); 〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目 1 5 番 2 号 高愛ビル 9 階 Tokyo (JP).
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 科学技術振興事業団 (JAPAN SCIENCE AND TECHNOLOGY CORPORATION) [JP/JP]; 〒332-0012 埼玉県川口市本町四丁目 1 番 8 号 Saitama (JP). 独立行政法人産
- (81) 指定国 (国内): CA, CN, JP, KR, SG, US.
- (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).

[続葉有]

(54) Title: POLYMER CONTAINING 9-OXO-9-PHOSPHAFLUORENE-2,7-DIYL SKELETON IN BACKBONE AND PROCESS FOR PRODUCING THE SAME

(54) 発明の名称: 9-オキソ-9-ホスファフルオレン-2, 7-ジイル骨格を主鎖に含む重合体及びその製造方法

(57) Abstract: A polymer containing in the backbone a 9-oxo-9-phosphafluorene-2,7-diyl skeleton or a combination of the skeleton with a vinylene skeleton or arylene skeleton. The polymer is utilizable as, e.g., a component of a luminescent element or electrochromic element. The polymer is obtained by subjecting a 2,7-dihalo-9-oxo-9-phosphafluorene to polycondensation with dehalogenation, or to reaction with allylene bisboronic acid and polycondensation, or to polycondensation with an olefin.

(57) 要約:

本発明は、発光素子やエレクトロクロミック素子の構成材料等として利用可能な 9-オキソ-9-ホスファフルオレン-2, 7-ジイル骨格、該骨格とビニレン骨格またはアリーレン骨格を主鎖に含む重合体およびその製造方法を提供することを課題とする。

本発明は、2, 7-ジハロ-9-オキソ-9-ホスファフルオレンを脱ハロゲン重縮合させるか、アリーレンビスボロン酸と反応させて重縮合させるか又はオレフィンと重縮合させることにより得られる、発光素子やエレクトロクロミック素子の構成材料として利用可能な重合体及び該製造方法に関する。



WO 02/072661 A1



添付公開書類：
— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各*PCT*ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。